

# 高齢者肺炎球菌 予防接種のご案内

肺炎球菌が原因で起こる肺炎などの感染症予防や、発症・重症化を防止するために高齢者肺炎球菌予防接種の費用の助成を行っています。  
対象者は費用を一部負担することで予防接種を受けることができます。

※本制度は、現時点で令和5年度（2023年度）で終了の予定です

**対象者** 定期接種の対象者は毎年度異なるため、接種の機会を逃さないようご注意ください

●令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）は、これまで肺炎球菌ワクチンを接種したことがない方で、①もしくは②の方が定期接種の対象です。

●誕生日を迎える前でも期間中であれば接種できます。

## 対象者①（生年月日）

## 対象者②

### 令和2（2020）年度に

65歳になる方	昭和30年4月2日生～昭和31年4月1日生
70歳になる方	昭和25年4月2日生～昭和26年4月1日生
75歳になる方	昭和20年4月2日生～昭和21年4月1日生
80歳になる方	昭和15年4月2日生～昭和16年4月1日生
85歳になる方	昭和10年4月2日生～昭和11年4月1日生
90歳になる方	昭和5年4月2日生～昭和6年4月1日生
95歳になる方	大正14年4月2日生～大正15年4月1日生
100歳になる方	大正9年4月2日生～大正10年4月1日生

60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障がいや、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がい（身体障害者手帳1級程度）がある人

※過去に肺炎球菌ワクチンの接種を受けたことがある人は、助成の対象となりません。

※ひ臓を摘出した人は保険の適用があります。かかりつけ医にご相談ください。

**申請方法** 助成を受けて接種するには事前申請が必要です

●4月1日に古賀市に住民票がある65歳の人には、4月半ばに接種券を個別発送いたします。申請は不要です。

**【申請場所】** サンコスモ古賀 予防健診課

**【申請時に必要なもの】** 印鑑（朱肉を用いるもの）、保険証または運転免許証など

※代理人の申請の場合・・・印鑑と、本人および代理人の健康保険証または運転免許証（コピー可）

※（該当者のみ）生活保護受給証明書・身体障がい者手帳・中国残留邦人等支援給付受給者本人確認証

※郵送による申請もできます。詳しくはお問い合わせください。

**接種期間** 令和2年4月1日～令和3年3月31日

**自己負担金** **4,000円**

接種希望の方は早めに医療機関へ予約してください。

お支払いは医療機関窓口にて。必ず接種券と一緒に提出してください。

（※生活保護受給者・中国残留邦人等支援給付受給者は自己負担金が免除されます）

**お問い合わせ** サンコスモ古賀 予防健診課 電話 942-1151

古賀市内の実施医療機関は、裏面をご確認ください

## 【古賀市 肺炎球菌予防接種実施医療機関】

県内の指定医療機関でも接種が可能です。事前に医療機関におたずねください。

医療機関	電話番号	住所
いけだ内科クリニック	944-3225	舞の里3-17-10
植田脳神経外科医院	943-2220	久保1095-1
大岩外科医院	942-6231	花見東2-1-5
おおつか小児科アレルギー科クリニック	941-1700	舞の里3-15-17
かい外科・胃腸科クリニック	940-1620	駅東2-14-7
かい整形外科医院	943-2411	今の庄1-10-28
加野クリニック	944-1212	花見南1-2-15
かわくぼ脳神経外科	940-4970	花見東5-1-33
北崎医院	942-3205	中央2-2-1
古賀おなかぼんぼん内科クリニック	944-0005	美郷203
古賀中央病院	944-1551	天神1-13-30
こがファミリー内科循環器内科	946-3131	米多比1515-1
すなお医院	941-4210	舞の里3-17-8
武市クリニック	943-1155	舞の里3-8-14
ちどり医院	943-0224	花見東6-9-6
堤医院	944-2230	青柳821-1
中島医院	942-2402	天神1-12-21
中山内科胃腸科医院	943-8831	天神3-7-27
福岡内科・循環器科クリニック	942-3700	日吉3-18-15
福岡東医療センター※かかりつけの方のみ可能	943-2331	千鳥1-1-1
福岡聖恵病院	942-6181	鹿部482
舞の里内科クリニック	944-2626	千鳥6-11-24
薬王寺在宅クリニック	946-3300	薬王寺957
やの循環器内科クリニック	944-2380	今の庄2-4-14

今後わが国では、東京オリンピック、パラリンピックと、これから多くの人が集まるイベントが国内で開催される予定です。国外から感染症が持ち込まれることや感染症が発生した場合は、急速に広まることが懸念されます。日頃から手洗い等の感染対策に努め、予防接種は早めにうけるようにしましょう。

